

# 企業型DCの制度運営に関する取組事例 サントリーホールディングスDCプラン

2023.12

サントリー企業年金基金  
西川 加奈子

# 本日のアジェンダ

---

1. 会社概要
2. わが社におけるDC制度の位置づけ
3. ガバナンスの取り組み
4. 継続教育・商品見直し
5. 運営管理機関評価の取り組み
6. 直近の取り組み

# 本日のアジェンダ

---

## 1. 会社概要

## 2. わが社におけるDC制度の位置づけ

## 3. ガバナンスの取り組み

## 4. 継続教育・商品見直し

## 5. 運営管理機関評価の取り組み

## 6. 直近の取り組み

# 会社概要

## サントリーホールディングス株式会社

- ◆設立年:1899年
- ◆本社:大阪市北区堂島浜2-1-40
- ◆売上収益(酒税控除後) 2兆6,588億円 (2022年度 国際会計基準)
- ◆営業利益 2,765億円 (2022年末時点 国際会計基準)
- ◆主要事業



酒類事業



飲料・食品事業



健康食品事業



外食・花・  
サービス関連事業

# サントリーグループの企業理念

## サントリーグループの企業理念

社是や創業精神をもとに、わたしたちの目的、価値観で構成。  
会社がめざすこと、それを実践する上で大切にしたい考え方を示すもの

わたしたちの目的 Our Purpose

サントリーグループが事業を営む目的、企業としてめざす方向性

人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、  
「人間の<sup>いのち</sup>生命の輝き」をめざす。

わたしたちの価値観 Our Values

目的を実現するために、すべての社員が大切にすべき価値観

## Growing for Good

人として、企業として、社会のために成長し続けること。  
成長し続けることで、社会を良くする力を大きくしていくこと。

## やってみなはれ

失敗を恐れることなく、新しい価値の創造をめざし、  
あきらめずに挑み続けること。

## 利益三分主義

事業活動で得たものは、自社への再投資にとどまらず、  
お客様へのサービス、社会に還元すること。

# 会社紹介

## 「やってみなはれ」の会社



失敗や反対を恐れない  
創業者の強烈な  
挑戦から始まった

1907 ..... 1923 ..... 1937

赤玉ポートワイン



日本初のウイスキー作り



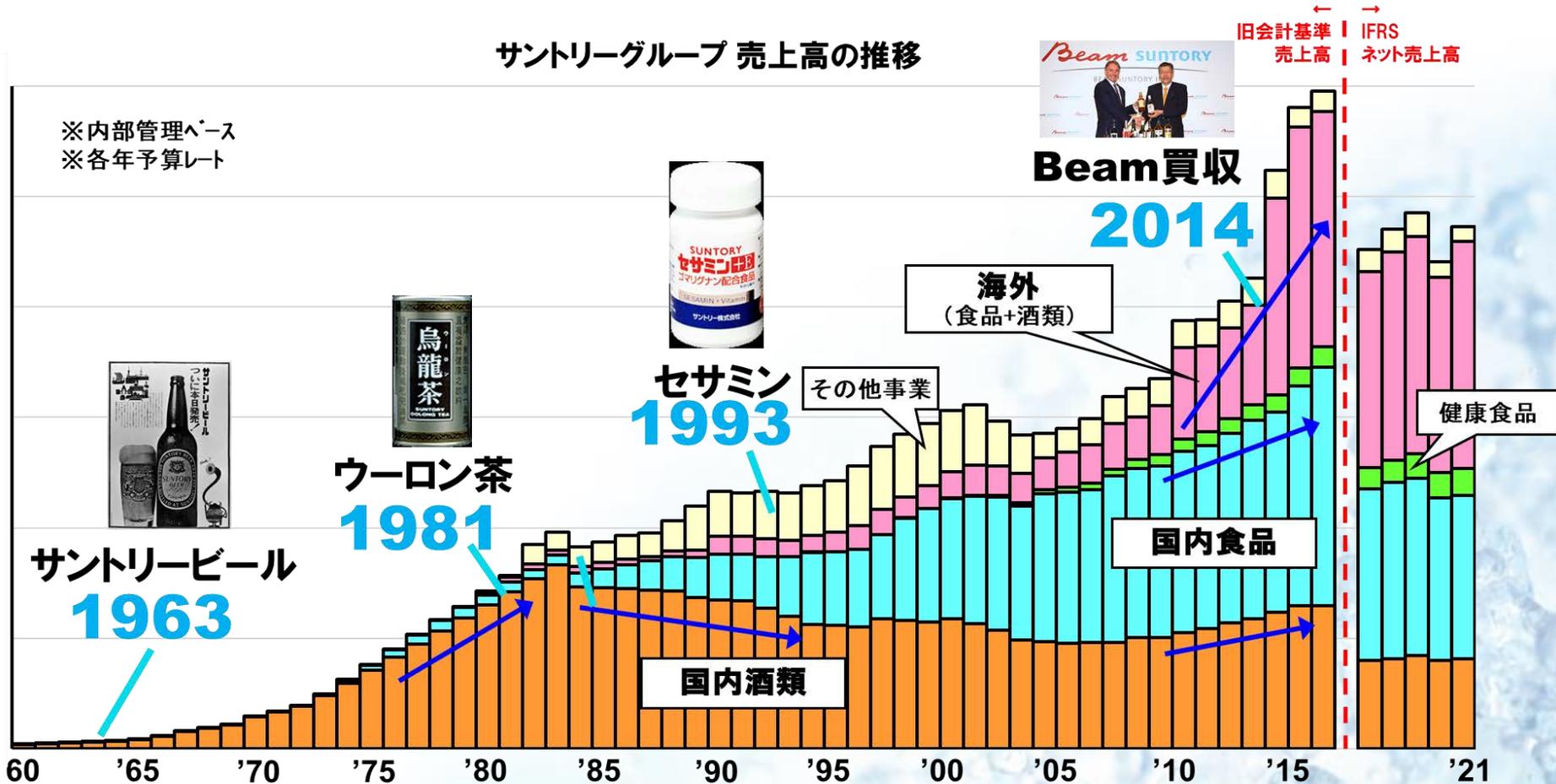
角瓶発売



# 会社紹介

「やってみなはれ」精神は引き継がれ、  
挑戦と失敗の連続で市場を創造

サントリーグループ 売上高の推移



# サントリーにおける人本主義

サントリーの人本主義

SUNTORY GROUP'S  
HUMAN CAPITAL MANAGEMENT

WE ARE  
SUNTORY

"Our people and culture"

や  
つて  
み  
な  
は  
れ

1899年の  
創業から続く  
「人本主義」

私達は、人と自然と響き合い、  
豊かな生活文化を創造し、  
「人財の生命の輝き」をめざしています。  
その実現に向けて、  
「人」こそが、経営の重要な基盤であるという  
「人本主義」の考えのもと、  
さまざまな取り組みを進めています。

MESSAGE MOVE



新浪 剛史

Takeshi Ninami  
サントリーホールディングス株式会社  
代表取締役社長

1899年の創業から「人」を最重視した経営を推進し、「人」こそが、経営の最も重要な基盤であるという「人本主義」の考えのもと、さまざまな取り組みを進めております。個性や多様性を強みとして活かすDEIの推進、従業員はもちろんご家族も含めた健康経営の推進など、従業員一人ひとりが、サントリーグループの一員として、自分らしくイキイキと働ける環境をつくり出しています。

# 本日のアジェンダ

---

1. 会社概要

**2. わが社におけるDC制度の位置づけ**

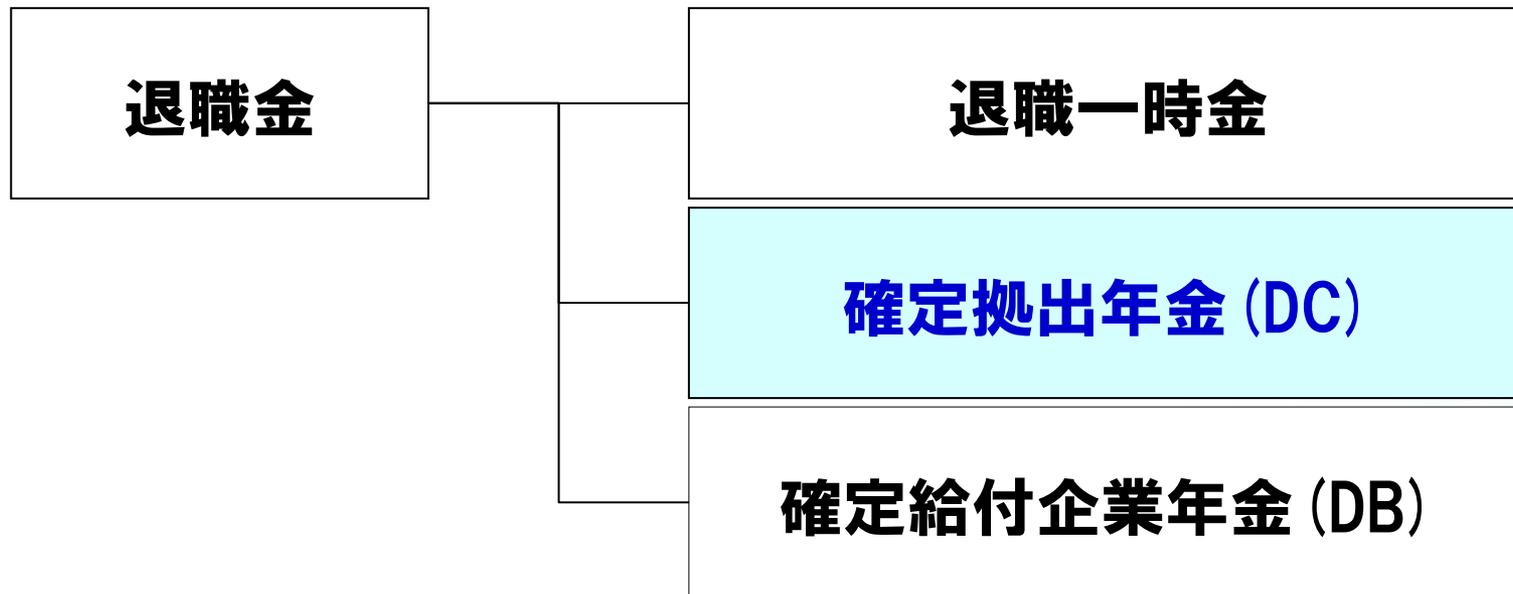
3. ガバナンスの取り組み

4. 継続教育・商品見直し

5. 運営管理機関評価の取り組み

6. 直近の取り組み

# サントリーにおける退職給付制度



## 【サントリーの退職給付制度の考え方】

「定年後の生活を支える重要な要素の一つ」として『長期的・安定的な支給』を基本的な考え方としており、それを実現していくことが、「仕事に専念できる安心感」「会社への求心力」の向上にも寄与すると考えている。

確定拠出年金は、個々の選択においてより豊かな生活を実現していくことを基本思想とする。

# サントリーにおけるDC制度

- ◆DC加入者 : 6,438人 (2023年3月末時点)
- ◆DC導入時期 : 2005年4月
- ◆マッチング拠出 : 2013年4月
- ◆運用商品 : 元本確保型7本  
投資信託14本 (計21本※)  
※うちバランス型商品6本
- ◆運営管理機関 : 三井住友信託銀行 様

# 本日のアジェンダ

---

1. 会社概要

2. わが社におけるDC制度の位置づけ

**3. ガバナンスの取り組み**

4. 継続教育・商品見直し

5. 運営管理機関評価の取り組み

6. 直近の取り組み

# 「従業員（加入者）本位」の制度運営

## 企業型DCとは？

**加入者が**自己責任で運用を行い、その結果将来の給付額が決まる制度

## 事業主は、

加入者の資産運用支援/ 加入者の利益を最大限実現できる運営が必要

## サントリーでの具体的な実現方法

### 2018年法改正

#### 企業型DCガバナンス (努力義務)

- ① 運営管理機関の評価
- ② 運用商品のモニタリング
- ③ 継続投資教育

### 2020年ガバナンス体制構築

#### DC委員会の設置

加入者の意見が反映される体制

#### 基金の基盤活用

加入者が適切に資産運用できる環境整備

DC運営：人事部/基金（事務局） 年2回定期開催

DC委員会メンバー：人事部/基金/労働組合

※会社（経営）側参加者として人事部部長、従業員側参加者として労働組合委員長を含む執行部が参加

# DC委員会発足後の主な取組み

投資教育の充実を図り、加入者への情報提供や環境面の取組み（運用商品の見直し・運営管理機関の評価）を推進

	～2019	2020	2021	2022	2023
運営面		★DC委員会体制での運営			
		★DC委員会発足 ★運用商品の評価	★運用商品見直し ★信託報酬引き下げ	★運営管理機関 評価	★運用商品見直し ★運営管理機関 評価
★加入者アンケート (フリーコメントのみ)		★加入者の状況把握・加入者の声を施策に反映			
		★加入者アンケート 意見収集 ・定量分析	★加入者アンケート 意見収集 ・定量分析	★加入者アンケート 意見収集 ・定量分析	★加入者アンケート 意見収集 ・定量分析
投資教育		★投資教育の拡充			
	★Eラーニング	★Eラーニング ★基金イントラの強化 ★FP個別サポート導入	★Eラーニング ★説明会 ★FP個別サポート ★組合と連携した施策周知	★Eラーニング ★説明会 ★FP個別サポート ★組合と連携した施策周知	★Eラーニング ★説明会 ★FP個別サポート ★商品保有別個別通知

# DC委員会発足後の主な取組み

投資教育の充実を図り、加入者への情報提供や環境面の取組み（運用商品の見直し・運営管理機関の評価）を推進

	～2019	2020	2021	2022	2023
運営面		★DC委員会体制での運営			
		★DC委員会発足 ★運用商品の評価	★運用商品見直し ★信託報酬引き下げ	★運営管理機関評価	★運営管理機関評価 ★運用商品見直し
加入者	★加入者アンケート (フリーコメントのみ)	★加入者の状況把握・加入者の声を施策に反映			
		★加入者アンケート 意見収集・定量分析	★加入者アンケート 意見収集・定量分析	★加入者アンケート 意見収集・定量分析	★加入者アンケート 意見収集・定量分析
投資教育		★投資教育の拡充			
	★Eラーニング	★Eラーニング ★基金イントラの強化 ★FP個別サポート導入	★Eラーニング ★説明会 ★FP個別サポート ★組合と連携した施策周知	★Eラーニング ★説明会 ★FP個別サポート ★組合と連携した施策周知	★Eラーニング ★説明会 ★FP個別サポート ★組合と連携した商品保有別 施策周知 個別通知

Plan

Check

Do

NEW

# よくいただくご質問

アンケートはどうやって収集していますか？  
回答率は？

# 本日のアジェンダ

---

1. 会社概要
2. わが社におけるDC制度の位置づけ
3. ガバナンスの取り組み
- 4. 継続教育・商品見直し**
5. 運営管理機関評価の取り組み
6. 直近の取り組み

# DC委員会発足後の主な取組み

投資教育の充実を図り、加入者への情報提供や環境面の取組み（運用商品の見直し・運営管理機関の評価）を推進

	～2019	2020	2021	2022	2023
運営面		★DC委員会体制での運営			
		★DC委員会発足 ★運用商品の評価	★運用商品見直し ★信託報酬引き下げ	★運営管理機関 評価	★運営管理機関 評価 ★運用商品見直し
	★加入者アンケート (フリーコメントのみ)	★加入者の状況把握・加入者の声を施策に反映			
		加入者アンケート 意見収集 ・定量分析	★加入者アンケート 意見収集 ・定量分析	★加入者アンケート 意見収集 ・定量分析	★加入者アンケート 意見収集 ・定量分析
投資教育		★投資教育の拡充			
	★Eラーニング	★Eラーニング 基金イントラの強化 FP個別サポート導入	★Eラーニング 説明会 ★FP個別サポート  組合と連携した 施策周知	★Eラーニング ★説明会 ★FP個別サポート  ★組合と 連携した 施策周知	★Eラーニング ★説明会 ★FP個別サポート  ★組合と 連携した 施策周知
				商品保有別 個別通知	商品保有別 個別通知

# よくいただくご質問

**継続投資教育はどのようなことをされていますか？  
工夫されている点はどこですか？**

2020年

# 加入者への情報提供・開示の強化

退職金制度・DB・DC、運営管理機関サイト、各種支援サービスの情報が散在していた

## 加入者目線で「退職金関連の情報」の一元化

基金イントラネットに  
退職金制度・DB・DCの情報を集約

**サントリー退職金制度概要**

サントリーの退職金は3つの異なる制度

- ①退職一時金
- ②確定給付年金 (DB)
- ③確定拠出年金 (DC)

に分けて支払います。

**サントリー確定給付年金 (DB)**

退職金の約7割を占め、あらかじめお約束した額を年金または一時金で支給します。

【年金受給者・加入者専用ページ】  
ユーザー名：sunkikin  
パスワード：oldboss

**サントリー確定拠出年金 (DC)**

退職金の約2割を占め、会社からの拠出金を皆さん自身で運用し、運用結果により受取額が変動します。

### リンク集

日本年金機構  
企業年金・公的年金シミュレーション (ピープル本部 ライフ相談G)  
退職金ポイント照会 (※毎年3/末ポイント表示)  
国民年金第3号被扶養者住所変更届について  
その他厚生年金でよくある問い合わせ

### リンク集 (English)

Japan Pension Service  
How to read the Notice of your account balance in the Defined Contribution pension plan (DC)  
Investment Product List(April 2021)  
How to check your asset allocation  
How to re-notify and re-issue the dedicated ID and PIN

アクセス数を計測し  
加入者に見られているかを  
確認しながら運営

## DCページを新設

2023/05/15 ・[5-6月開催]インフラに負けるな 130代から始める DC資産運用説明会を実施します  
・[申込6月末迄]FP個別オンラインサポート (DC-ライブプラン等) 【1人、1家族3回迄無料】

<p><b>加入者専用WEBサイト</b></p> <p>三井住友信託ライフサイト <b>ログイン</b></p> <p>ID・確認番号の再通知・再発行はこちら ⇒ログイン方法はこちら(スマホはこちら)</p>	<p><b>三井住友DCコールサービス</b></p> <p>お問い合わせは (※一部商品も無料)</p> <p><b>0120-996-401</b> 専門オペレーターが対応 こんな相談・手続きできます</p>	<p><b>【期間限定】FP個別サポート</b> <b>【申込6月末迄】3回迄無料</b></p> <p>個人別に解説・アドバイスを受けられます ご利用ください</p>	<p><b>【加入者状況報告】</b> ＜2022年9月末基準＞</p> <p>皆さんがどの商品を選択しているのか、 利回りの分布・マッチングの活用状況等 ご確認いただけます</p>
<p><b>制度について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶確定拠出年金(DC)とは?</li> <li>▶&lt;サイズ&gt;簡単理解 運用の基礎知識【①基礎編】・【②応用編】・【③実践編】</li> <li>▶【超基礎】運用タイプシミュレーション</li> <li>▶新商品の特選DC商品一覧(2021年4月～)・信託報酬とは(動画) ①商品概要・②投資信託の手数料の仕組み</li> <li>▶「残高のお知らせ」の見方(動画) ①主なチェックポイント・②原有商品の確認方法</li> <li>▶ご自身の資産配分の確認方法</li> <li>▶加入者専用WEBサイト利用ガイド【PC操作】・【スマホ操作】</li> <li>▶DCガイドブック(前半・後半)・サントリーDCプランの制度情報</li> </ul>	<p><b>運用について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶&lt;サイズ&gt;簡単理解 運用の基礎知識【①基礎編】・【②応用編】・【③実践編】</li> <li>▶【超基礎】運用タイプシミュレーション</li> <li>▶新商品の特選DC商品一覧(2021年4月～)・信託報酬とは(動画) ①商品概要・②投資信託の手数料の仕組み</li> <li>▶「残高のお知らせ」の見方(動画) ①主なチェックポイント・②原有商品の確認方法</li> <li>▶ご自身の資産配分の確認方法</li> <li>▶加入者専用WEBサイト利用ガイド【PC操作】・【スマホ操作】</li> </ul>	<p><b>各種手続き</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶住所・氏名の変更方法</li> <li>▶ID・確認番号の再通知・再発行方法</li> <li>▶メールアドレスの登録・変更方法</li> <li>▶「残高のお知らせ」紙媒体→電子版への切替方法</li> <li>▶マッチング拠出制度の申請手続き</li> <li>▶60歳までに退職される時の手続き・(動画)退職後の手続き</li> <li>▶60歳到達時の手続き</li> <li>▶運用商品の変更方法・(QA)変更手続き(動画) ①これからの現金で購入する商品の変更 ②これまで購入した商品の変更・③変更した内容の確認</li> </ul>	

## 運用商品モニタリングの方向性

- 同カテゴリの信託報酬**最安値**と同水準にする  
運用商品ラインアップを目指す

【2021年4月現在】

追加商品は、外国株式以外最安値を実現

※外国株式最安値は運営管理機関ユニバースに取扱いなし  
⇒運営管理機関の評価で、継続協議事項として取扱い

## モニタリング手法

- 運営管理機関とのMTG
- 基金で契約するDBコンサルティング会社の活用
- DB資産運用委員会にて運用商品のモニタリング
- DC委員会で機関決定

## 投資信託

国内債券  
パッシブ  
1本

外国債券  
パッシブ  
2本

新興国債券  
パッシブ  
1本

**新**  
低信報商品  
1本  
追加

信託報酬  
引き下げ

バランス型  
パッシブ  
1シリーズ  
計6本

(資産配分固定型)

**新**  
低信報商品  
同シリーズ  
3本  
追加

国内株式  
パッシブ  
1本

外国株式  
パッシブ  
2本

新興国株式  
パッシブ  
1本

**新**  
低信報商品  
1本  
追加

信託報酬  
引き下げ

21年4~5月

## 一石三鳥の説明会

- 変更手続き+商品説明
- FPサポートによる個別フォロー

・説明会参加者  
⇒手続き実施率:高

22年11~12月

## 商品保有別の個別通知

- 手数料の高い商品の保有者に個別アプローチ
- 自身の保有状況を通知

・未実施者実態:  
資産配分不明  
変更方法不明多数

6~8月

## 商品追加をフックに 投資教育を拡充

- 説明会追加開催 計11回  
FPサポート期間延長
- 組合支部説明会での案内

7~8月

## Eラーニングでも商品・手続きを周知

- 商品追加の意図・特徴解説
- 変更手続きのサポート  
説明会・FPの活用促進
- 切替状況・変更未実施理由確認

・手数料の高い→安い  
商品への切替  
⇒一定数進んだが  
未実施者が多い

2022年

# ターゲットを限定した新たな取組み

## ■概要

低廉商品への変更未実施の理由として最も多い、『自分が該当商品を保有しているかわからない』という声に基づき、**手数料の高い商品の保有者（約2,500名）へ該当商品の購入状況・手続きの方法を個別通知**

■周知方法 運営管理機関よりメール・封書の2種類を送付

## ■周知内容

一人一人に、**自身の商品の購入状況**を提示

	商品名	商品コード	毎月の掛金 指定有無
バランス型			○
バランス型			
バランス型			
外国株式			○
外国債券			



**すぐに行動できるように**  
サポート施策・加入者番号を同封

**変更手続きの方法・サポート施策**

変更手続きは「三井住友投資ライフガイド」から **ID/PASSが変更です**

●毎月の掛金で購入する商品は、毎月末日の3営業日前までに手続きが完了すれば当月分から変更できます。  
●手続きそのものは、手数料などの費用はかかりません。

変更手続きは、①-③の3つの方法がありますので、ご都合に合わせて

**A** **変更手続きの動画を見て、ご自身で変更**  
(毎月の掛金で購入する商品の変更方法)  
【動画はこちら】 <https://autonystudent.co.jp/behavior/>  
【三井住友投資ライフガイド】から、ご自身で手続きいただけます。  
WebIDの手続きはID/PASSが変更です

**B** **その場で変更手続きを完了させるイベントに参加する** (約50分)  
昨年、500名の方が参加された大好評のイベントです。  
多くの人が、その場でID/PASSに更新の手続きを完了しています。  
定員に達すると、お申込みができませんのでお早目にお申込みください  
【プログラム】 DC商品の概要説明(20分) + 新商品への変更案内  
※非公開の最新商品もご紹介  
【開催日時】 12月15日(木) 11:05~12:55 定員  
【参加費】 無料  
【申し込みはこちら】 <https://questant.jp/autonystudent/>  
【参加要項】 参加の件数に限りがあります。ご自身のID/PASSは必ず  
【お申し込み】 <https://autonystudent.co.jp/>の「イベント」をご覧ください  
ID/PASSをすぐ更新ください

**C** **社外のFP(ファイナンシャル・プランナー)による個人別サポートを受ける**

**社外のFP(ファイナンシャル・プランナー)による個人別サポートを受ける** (約60分/1回)  
※別途手数料  
オンラインで動画を共有しながら、皆さんのニーズに応じて商品の解説や資産配分のアドバイス、商品変更手続きのサポートを受けられます。昨年500名様が利用されていますので、お早目に申し込みください。  
【申込受付】 12月23日(金) 18:00まで  
【申し込みはこちら】 <https://autonystudent.co.jp/>  
【お問い合わせ】 0120-936-556 (月～金 9:00～17:30)  
※ 個別の状況に合わせておこなわれます。  
※ 参加費無料。但し、個別の状況に応じて追加料金がかかります。  
※ 追加料金：特約、特約商品等の追加参加費(参加費一切なし)  
【お問い合わせ先】 株式会社FP協会  
FPネットセンター

**ユーザー ID・認証番号の再通知 / 再発行方法**

サントリーでは多くの方が、会社のメールアドレスを登録されています。まず①の方法で、会社のメールアドレスを試してみてください。

**1** **現在のIDの再通知・認証番号の再設定 (約5~10分)**  
(メールアドレス登録済の方)  
※ 現在登録済のメールアドレスをWeb上で入力し、ID/PASS登録済 (登録にはID/PASSが必要) の方は、Web上でIDの再通知を行うことができます。  
【動画マニュアルはこちら】 <https://autonystudent.co.jp/learn/move/>

**2** **新しいID・認証番号の再発行 (受付終了後、1週間程度)**  
(メールアドレス未登録の方)  
【動画マニュアルはこちら】 <https://autonystudent.co.jp/learn/move/>

**お問い合わせ先** 【お問い合わせ先】 サントリー企画推進本部 西川 美穂子 (Kawakami, Misako@autonystudent.co.jp)  
【お問い合わせ先】 サントリー企画推進本部 高橋 イシタカ (Takahashi, Isitaka@autonystudent.co.jp)  
【商品変更手続き・ID再発行等のDC相談】 三井住友投資DCセンター (DC相談専用ダイヤル) <https://autonystudent.co.jp/>  
【連絡先】 0120-996-401

# 商品追加がDCへの関心UP・資産配分を見直す機会に！

## <21-22年活動結果>

### ○商品・手続き理解度の上昇

説明会・FP申込人数 : 加入者の約3割

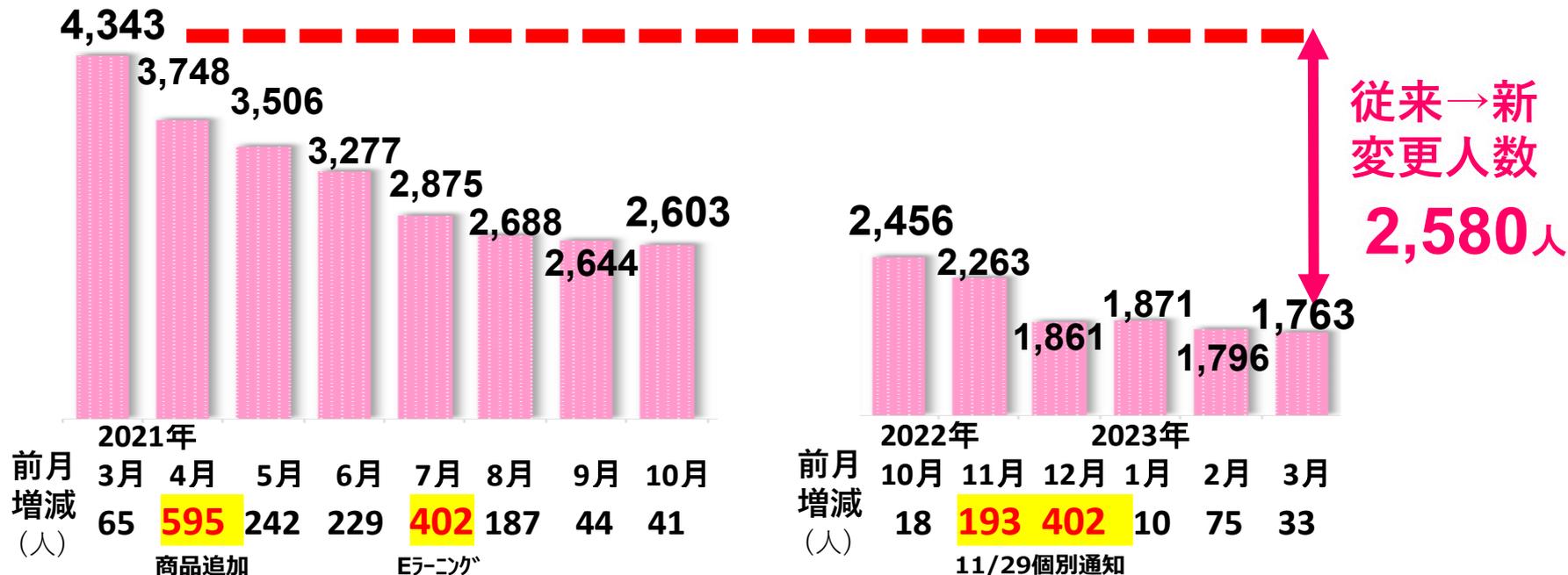
Webアクセス率大幅上昇 : +15%

### ○手続き実施率の上昇

🌀 手数料の高い→安い商品への切替 : 保有者の約6割

🌀 元本確保商品のみ保有者の減少 : 保有者の約2割

### ■2021-22年の従来商品(手数料の高い商品) 保有人数の推移



# 本日のアジェンダ

---

1. 会社概要
2. わが社におけるDC制度の位置づけ
3. ガバナンスの取り組み
4. 継続教育・商品見直し
- 5. 運営管理機関評価の取り組み**
6. 直近の取り組み

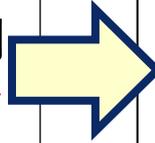
2022年

# 運営管理機関の評価について

## ■運営管理機関の評価（努力義務）

<2018法改正>

- ◆事業主は少なくとも5年毎に運営管理機関の評価を行い、対話を通じて改善していく
- ※2023年5月までに実施



<2022.3改正>

- ◆厚生局が各事業所に直接状況確認
  - ◆2022年から5年で全事業所を一巡するよう対象事業所を選定
  - ◆選定事業所は10月末までに回答
- ⇒2022年6月サントリーは対象実施事業所に選出

## 企業型確定拠出年金実施事業所の運営状況報告書（抜粋）

(1)運営管理機関の評価等の実施状況

- 1：評価等を行っている
- 2：評価等を行っていない

厚生局への報告は、運営管理機関の  
評価を行っている/行っていない  
2つの選択肢しかない！

評価を行うだけでは、「加入者の利益」が確保されない可能性あり。  
サントリーでは、厚生局から選出されたことをきっかけに、  
ガバナンス強化の観点で、運営管理機関の評価体制を構築。

# 加入者利益を確保するための「評価」とは？

より良い制度運営のため、法令解釈以上の評価体制を検討

## ①組織的に対応する「評価」ステップ



### ポイント

- DC委員会での評価を文書で通知
  - 改善要望に対する正式な回答依頼
  - 回答について協議し、内容記録
  - 評価業務についてエビデンス保存
  - 加入者開示は人事部通達で発信
- ⇒ **組織的な取組みが可能**

## ②実効性を考慮した「評価」方法

形骸化しない仕組み  
評価の継続性を  
考慮したマニュアル

### ポイント

- 法令解釈通知で充分でないと思われる評価項目は独自の項目を追加
  - 評価には「加入者アンケート」を元に「加入者の声」を反映
  - 専門的知見（DC広研等）によるアドバイス・チェックを受ける
  - 評価の定例化/改善事項の進捗報告
  - DC委員会の議題として定型化
- ⇒ **担当者交替によらない評価が可能**

# よくいただくご質問

**評価項目について、独自にどのような項目を追加されましたか？**

# 「改善要望」に対する「協議結果」

## 運用の方法について

【要望】2021.4月追加商品の資産クラスにおいて、**一物多価の解消**をさらに進めて欲しい。

【要望】今後の**ユニバース外の商品依頼**においては、**回答遅延にならないよう**進めて欲しい。

## 加入者への情報提供

【要望】**加入者とのインターフェイス**について、総合的に改善の提案をして欲しい（他社事例：三菱D-Canvasではインターフェイスの改善を実施）

## 継続投資教育

【要望】加入者の利益を考慮し、**積極的な提案**をして欲しい。

人事部・基金・運営管理機関で協議

### 【協議結果】

- ・運用会社への働きかけを含め最大限注力している。
- ・今後のユニバースへの新たな商品追加については、あらかじめスケジュールを提示する。

### 【協議結果】

- ・まずはスマホアプリとWebの連動から進めている。改善には時間を要すが、目指す方向性は同じと認識している。

### 【協議結果】

- ・積極提案すると約束。

協議結果は、議事録を運営管理機関と共有

運営管理機関の評価の定例化、1年毎に改善状況の進捗確認を行うことを約束

# 「加入者アンケート」「加入者開示」の意味合い

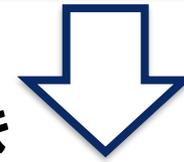
法令解釈の  
項目のみ

加入者としての要望  
(法令解釈の項目以上)



要望を反映することによって・・・

加入者に開示したとき



「無関心」で  
終わる  
(加入者に届かない)

自分たちの意見が  
反映されている  
「満足」

満足感の先に  
アップする項目

DCへの関心度  
制度運営への信頼感  
運用商品ラインアップへの信頼感

# よくいただくご質問

**運営管理機関評価について体制整備したことにより何か変わりましたか？**

# 本日のアジェンダ

---

1. 会社概要

2. わが社におけるDC制度の位置づけ

3. ガバナンスの取り組み

4. 継続教育・商品見直し

5. 運営管理機関評価の取り組み

6. 直近の取り組み

# 「従業員（加入者）本位」を考慮した直近の取組み

**加入者**が適切に資産運用を行えるよう  
環境を向上し、DCへの関心喚起・行動変容を促します

## 【課題】

まだ相当数、手数料の  
高い商品の保有者が  
いる

## 【課題】

主体的に行動できない  
層がいる（理解度の  
2極化が進みかねない）

## 【課題】

無関心層が一定数存在



**加入者の状況把握・ニーズを踏まえ対策を具体化**

信託報酬の高い  
投資信託の除外

レベル別の投資教育・  
分散投資の商品拡充

個別通知の活用

**ご清聴いただき、ありがとうございました。**